

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

➤ 山ノ内町沓野地区は、水稻栽培を中心とした副業的農家が大半を占めているが、基幹的農業従事者の高齢化もあり、水田耕作の継続が困難な農家も増加していることから、水稻以外の作付けを検討し、担い手確保や農地利用集積をいかに図るかが課題となっている。

【支援内容・背景】

➤ 課題解決に向けた地域での話し合いにより、水稻以外の作付けとして需要が高まるホップの栽培が検討され、品質がよい状態でホップを使用することにより、ビールの品質が向上し、消費者ニーズに対応したビールを提供できることや、ブランド力強化を図るため、自家栽培ホップを使用したビール生産量を多くする必要が あることから、規模拡大に取り組んでいく。



助成対象者「株式会社T」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

➤ 平成2年 ホップ 10a

➤ 平成3年 ホップ 10a

➤ 平成4年 ホップ(棚栽培) 20a

➤ 令和5年 ホップ(棚栽培) 30a

《事業活用の背景》

○株式会社Tでは事業を活用する前からホップを栽培しビール生産を行っていたが、そのビール生産を増やしたいということで補助事業を活用することとなった。

【事業実施時の状況】 〈R2年度〉 ○経営面積 0.1ha ○6次産業化 17,088ℓ (自社ホップを利用したビール販売量)	➡ 《事業による整備内容》 ○R3年度 ホップ棚 40m×6列×3、32m×6列×1 事業費 5,418千円 (国費 2,462千円) 	【現在の経営状況】 〈R5年度〉 ○経営面積 0.3ha (300%) ○6次産業化 59,669ℓ (349%)
---	---	--

事業の
効果

- 《対象者》・ホップを増産し、ビールの品質向上につながった。
- 《地 区》・獣の出没が作物の性質上、ほかの農産物と比較しても少なく見込まれること。
- ・農地が荒れないように草刈りなどによる農地の維持管理を行うことで景観維持に寄与している。